

2020年9月20日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第63巻第24号(通算3201号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさま つく 神様が創られたすべてのいのち
たいせつ きょうかい 大切にす教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

けいろう ひ れいはい
敬老の日礼拝

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
(聖霊降臨節 第17主日礼拝)

しんがた かんせんぼうし りゅうい れいはい おこな
《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インター**
ちゅうけい じたく とも れいはい いただ
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂きます》

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば てがみ
招きの詞 ペトロの手紙 I

しょう せつ
2章 16節

さんび か ばん きょうだんさんびかいいんかい
賛美歌 211番「あさかぜしずかにふきて」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ ふくいんしよ
聖 書 ヨハネによる福音書

しょう せつ
10章 1-6節

いの
お 祈 り

さんび か ばん しゅ ちよさくけんしょうめつ せつ
賛美歌 120番「主はわがかいぬし」(©著作権消滅)(1-3節)

メッセージ「あくのじゅうじか」

みずたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

さんび か ばん しゅ ちよさくけんしょうめつ せつ
賛美歌 120番「主はわがかいぬし」(©著作権消滅)(4-6節)

しゅ いの ページ さんしょう
主の祈り (2頁をご参照ください)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅく ぶく
祝 福

みずたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

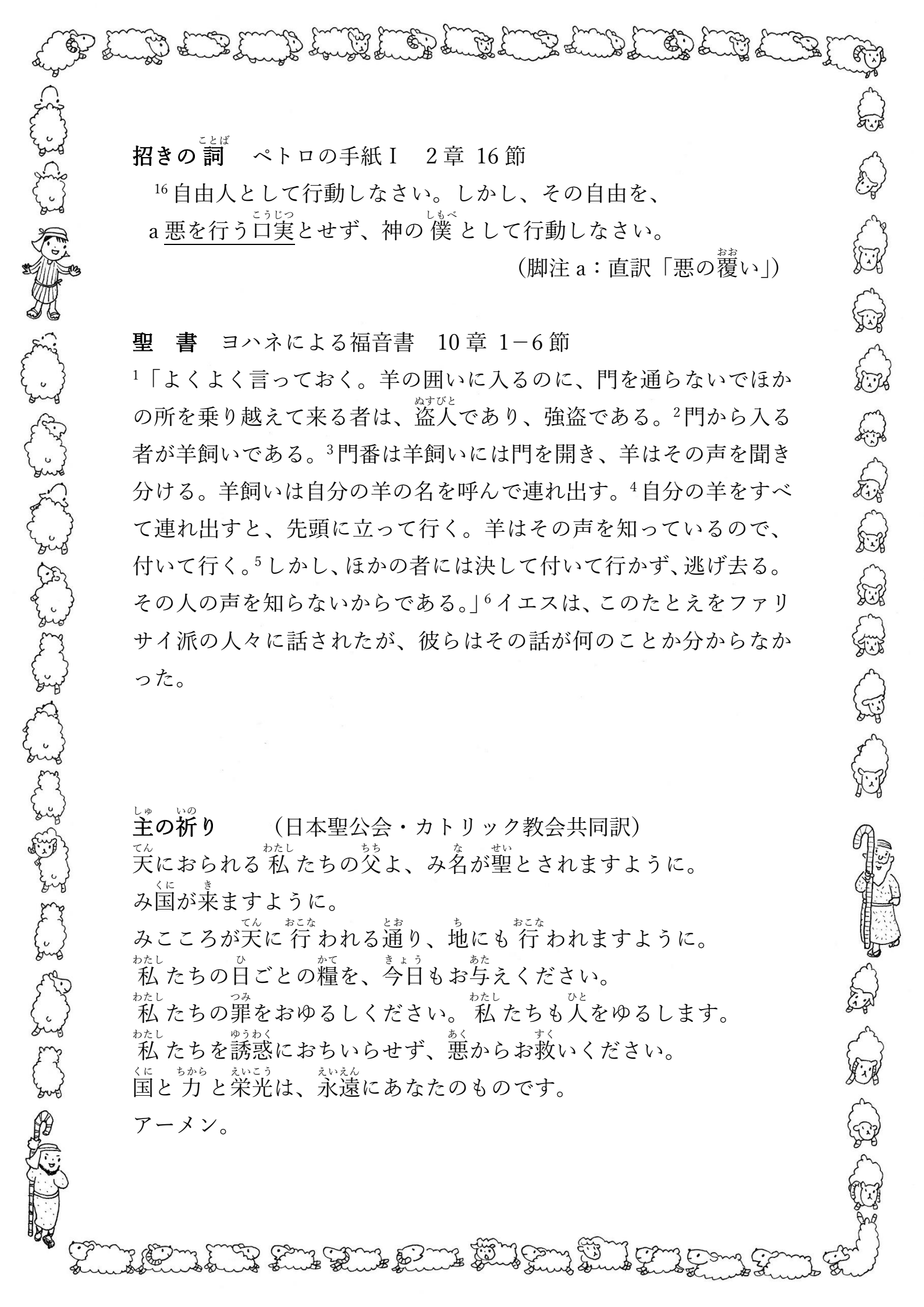
こう そ う ばん きょうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほう こく ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

れいはい じゅうせき かた かんかく せき すわ
《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りに
なつたままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。



招きの詞 ^{ことば} ペトロの手紙 I 2章 16節

¹⁶ 自由人として行動しなさい。しかし、その自由を、
a 悪を行う口実 ^{こうじつ} とせず、神の僕 ^{しもべ} として行動しなさい。

(脚注 a: 直訳「悪の覆い」^{おお})

聖書 ヨハネによる福音書 10章 1-6節

¹ 「よくよく言っておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人 ^{ぬすびと} であり、強盗である。² 門から入る者が羊飼 ^{かひ} いである。³ 門番は羊飼 ^{かひ} いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼 ^{かひ} いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。⁴ 自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、付いて行く。⁵ しかし、ほかの者には決して付いて行かず、逃げ去る。その人の声を知らないからである。」⁶ イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。

主の祈り ^{しゅいの} (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天 ^{てん} におられる 私 ^{わたし} たちの父 ^{ちち} よ、み名 ^な が聖 ^{せい} とされますように。

み国 ^{くに} が来 ^き ますように。

みこころが天 ^{てん} に行 ^{おこな} われる通 ^{とお} り、地 ^ち にも行 ^{おこな} われますように。

私 ^{わたし} たちの日 ^ひ ごとの糧 ^{かて} を、今日 ^{きょう} もお与 ^{あた} えてください。

私 ^{わたし} たちの罪 ^{つみ} をおゆるしくください。私 ^{わたし} たちも人 ^{ひと} をゆるします。

私 ^{わたし} たちを誘惑 ^{ゆうわく} におちいらせず、悪 ^{あく} からお救 ^{すく} いください。

国 ^{くに} と力 ^{ちから} と栄光 ^{えいこう} は、永遠 ^{えいえん} にあなたのものです。

アーメン。

《先週のメッセージより》9月13日 聖霊降臨節第16主日礼拝

メッセージ「今、命が私を生きている」より

牛田 匡 牧師

聖書：ヨハネの手紙Ⅰ 5章10 - 21節

「ヨハネの手紙Ⅰ」を読んでいると、「暗闇と光」「悪と善」「死と命」など対立的な表現が多く、まるで「神を信じる自分たちは、この悪の世とは別に永遠の命を生きる」と言っているかのように読めてしまいます。何故そんなにも排他的で、自分たちを特別視するのでしょうか。その背景としては、この手紙が書かれた当時の教会内部での信仰理解を巡る対立と、それに伴って生じた多くの仲間たちの分裂、分離があったのだろうと考えられています。しかし、この地上を人として歩まれたイエス・キリストの価値観と生き様を思い返してみる時、この手紙から私たちが読み取るべきは、自分たち以外の人たちを断罪し、自分たちだけが永遠の命に特権的にあずかるということではないはずです。

11節には「命は御子イエス・キリストの内にあります」とあり、続く13節には、あなたがたは「永遠の命」を「これから持つでしょう」ではなく、「今、持っている／持ち続けている」と現在形で書かれています。そもそも聖書に書かれている「永遠の命」とは、私たちの死後、時間的にずっと永続していく命のことではありません。むしろ時間という概念を飛び越えている「絶対的な命」、神様と結びついた「真実の命」です。生命の創り主である神様と結びついた「真実の命」、掛け替えのない唯一無二の「絶対の命」、それが「永遠の命」という言葉で表現されています。

私たちは日々、神様から命を頂いて生きています。それは言い換えれば、むしろ「命が私たちを生きている」と言った方が、適切なのかもしれません。ですから全ての命が妨げられることなく、生き活きと生きられることが大切であり、そのような道を妨げることが、罪や不正として記されています。確かにこの世界には悪があり、多くの命が脅かされています。しかし、その中にイエス・キリストは来られて、「真実の命」「絶対の命」を生きる道を示して下さいました。今、私たち全ての命はそのイエス様の内に、イエス様と共に生きる者とされています。そのために私たちは他の人々を断罪したり、上から目線になったりせずに、生命の神から与えられる「絶対の命」が全ての人の中に息づいていることを覚えて、自他ともに全ての命を大切に生きていくことができます。

「今、命が私を生きている」……。新型コロナウイルス感染症のことをとっても、経済のことをとっても、私たちの生きている世界には、不安なことがたくさんありますが、命の神様はいつも私たちと共にいて下さって、今日も私たちを新しく生かして下さいます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (9月13日)

礼拝出席 大人5名 献金4,000円 感謝
聖書を読む会 参加者4名



◎次週 2020年9月27日(日) 聖霊降臨節第18主日礼拝

招きの詞 コリントの信徒への手紙Ⅱ 6章 16節

聖書 エフェソの信徒への手紙 3章 14-21節

メッセージ「残りものにも福がある」 牛田匡牧師

賛美歌 1954-492番 (©P.D.) 21-201番 (©JASRAC) 新生363 (©バプテスト連盟)

礼拝の中で、9月生まれの方(と今年度8月までにお生まれの方)の誕生者祝福式を行います。なお礼拝をインターネットで中継配信いたします。

礼拝後には、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。

(今春までは特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」を会場として毎月行って来ておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のために現在「大阪好意の庭」は外来者の立ち入りを制限しておりますので、先月に引き続き久宝教会にて行います)

◎ お知らせ

- ・敬老の日にあたり、関連施設である特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」「第二好意の庭」と、デイサービス「旭ヶ丘コイノニア・ガーデン」に教会からプレゼントをお渡しいたしました。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、教会では引き続き、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、ご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。
- ・また礼拝の録画保存は現在行っておりませんが、録画保存されたものを礼拝時間とは別の時間に視聴したいというご希望がおありの方は、牧師までご連絡を頂ければ、次回の「教会を考える会」の議題として検討させていただきます。今後も、感染状況の変化に伴う礼拝の持ち方など最新のお知らせについては、教会のホームページ、Facebook、LINE公式アカウントなどで、お知らせいたします。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
9/27	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	誕生者祝福式 おにぎり支援
10/4		牛田牧師	世界聖餐日(ユウカリスト) 教会を考える会
10/11		牛田牧師	(神学校日) 聖書を読む会
10/18		水谷牧師	

